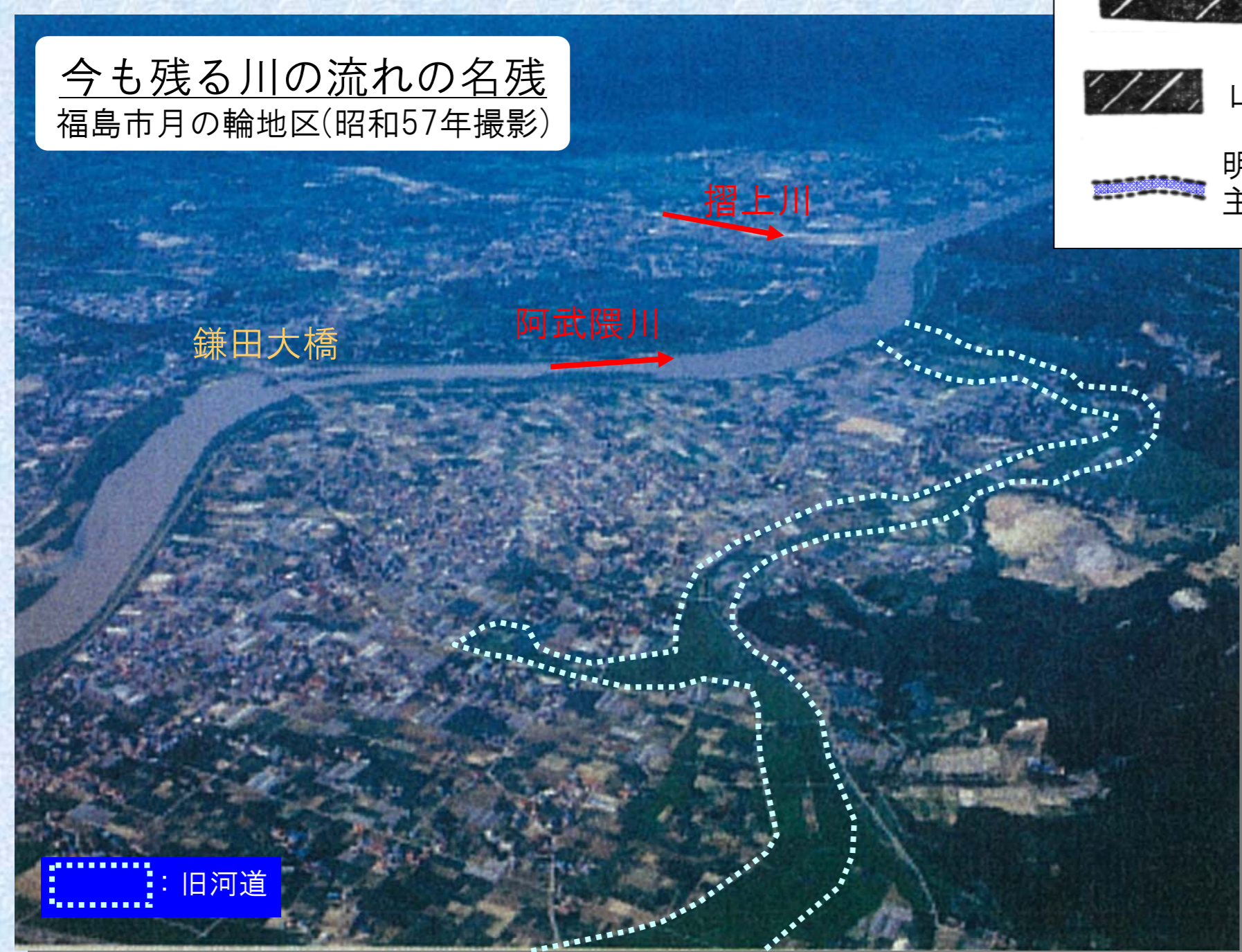
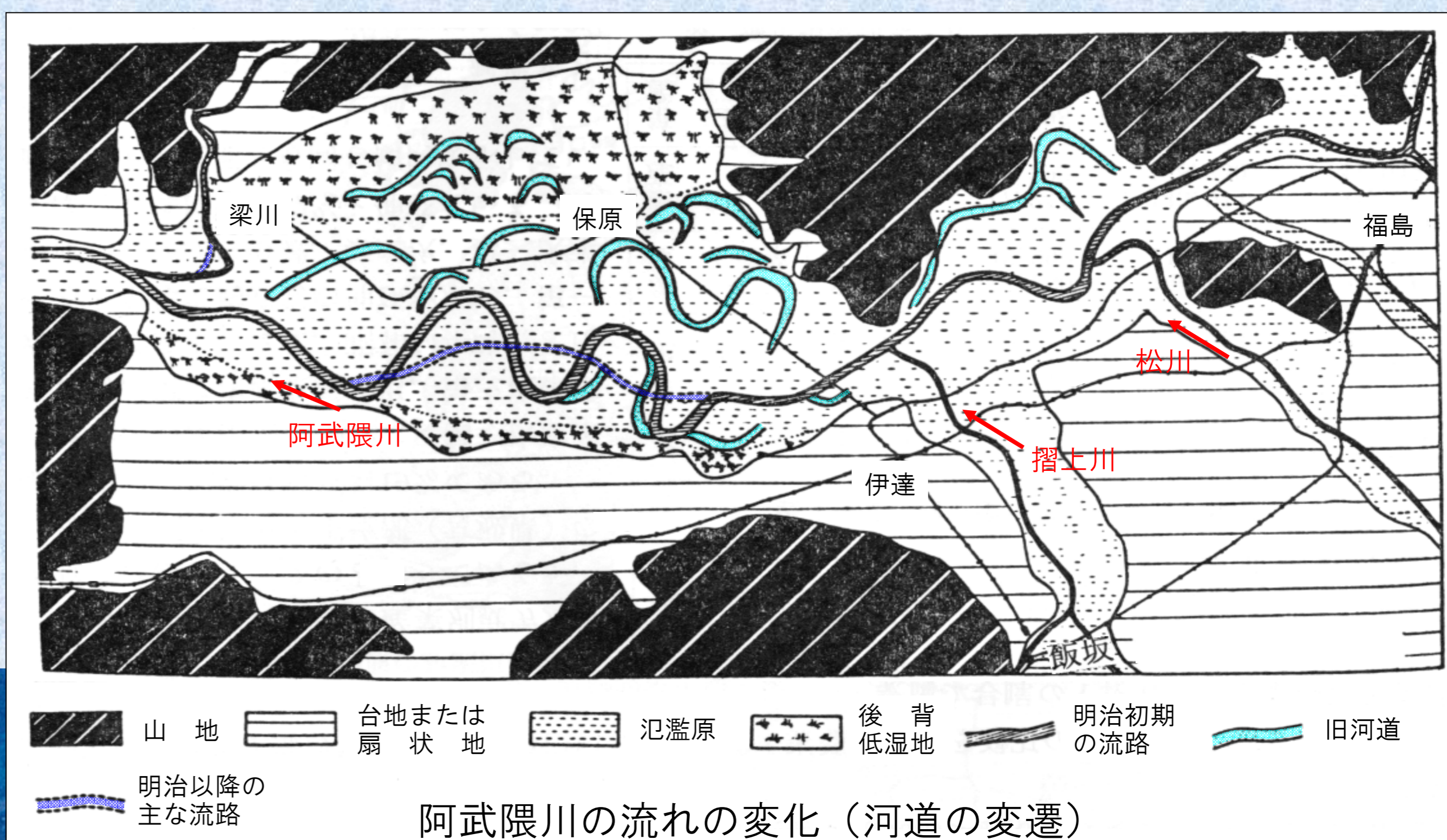


阿武隈川上流の改修を振り返る〈河川レビュー〉

■ 洪水を防ぐための改修（藩政時代）

■ 改修と川の流るの変化

◆ 洪水が起こるごとに川の流るが変化し、そのたびに水田や畑などの境界争いがありました。



◆ この時代の河川改修は、現在のような調査や計画は行われずに、災害をきっかけに堤防が造られたり、川の流るを変えることなどが行われていました。

しゅううん ■ 舟運（物資輸送や交通手段としての川の利用）

- ◆ 川はかつては、食料の運搬や移動手段として盛んに利用されていました。
- ◆ 藩政時代には、天領米（年貢）運搬のため、江戸の豪商が私財を投じて、福島（福島市）から荒浜（宮城県亘理町）までの川ざらいをし、舟運のための航路を開きました。



舟運の拠点となった河岸(かし)の分布

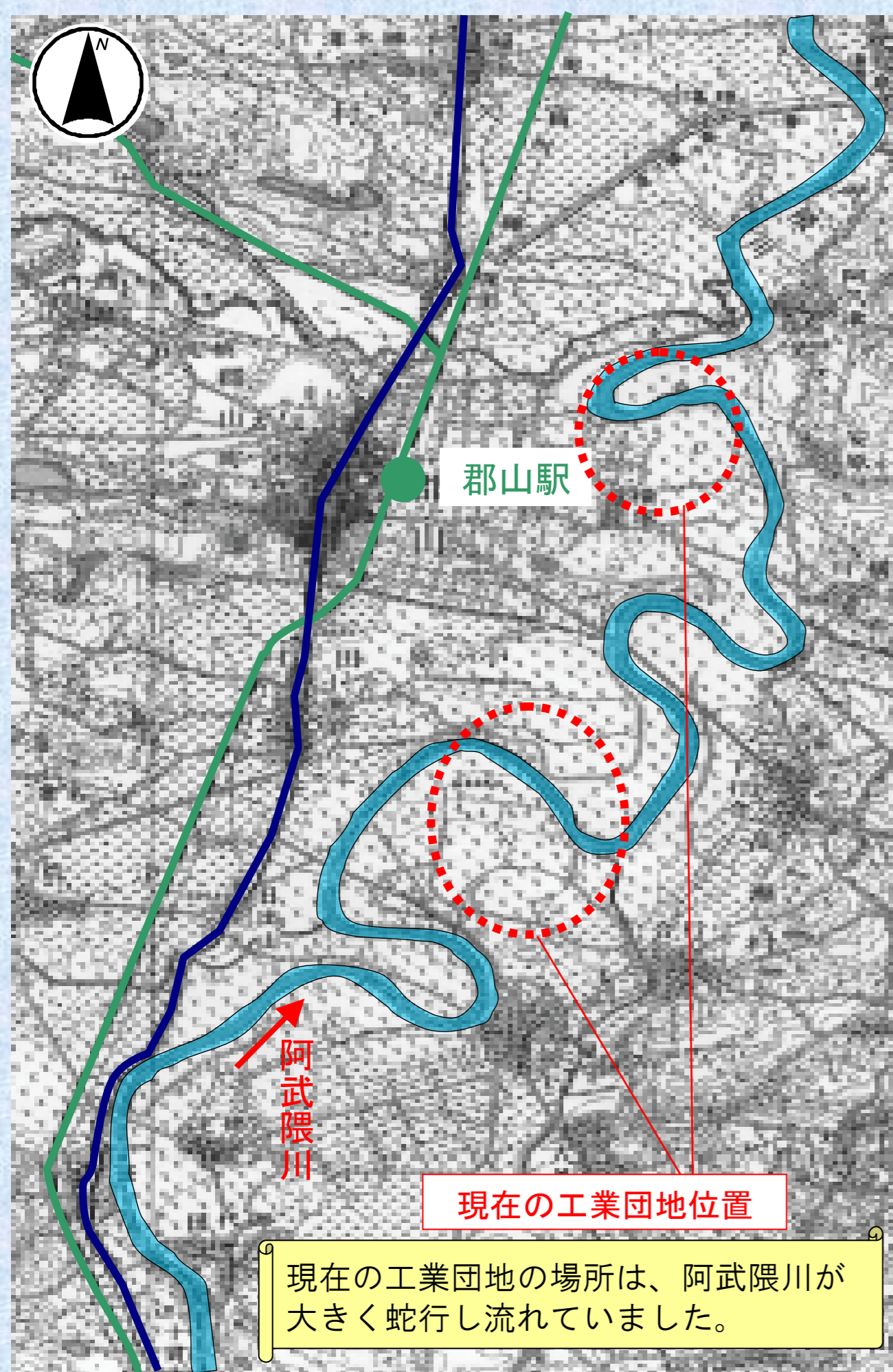


阿武隈川上流の改修を振り返る〈河川レビュー〉

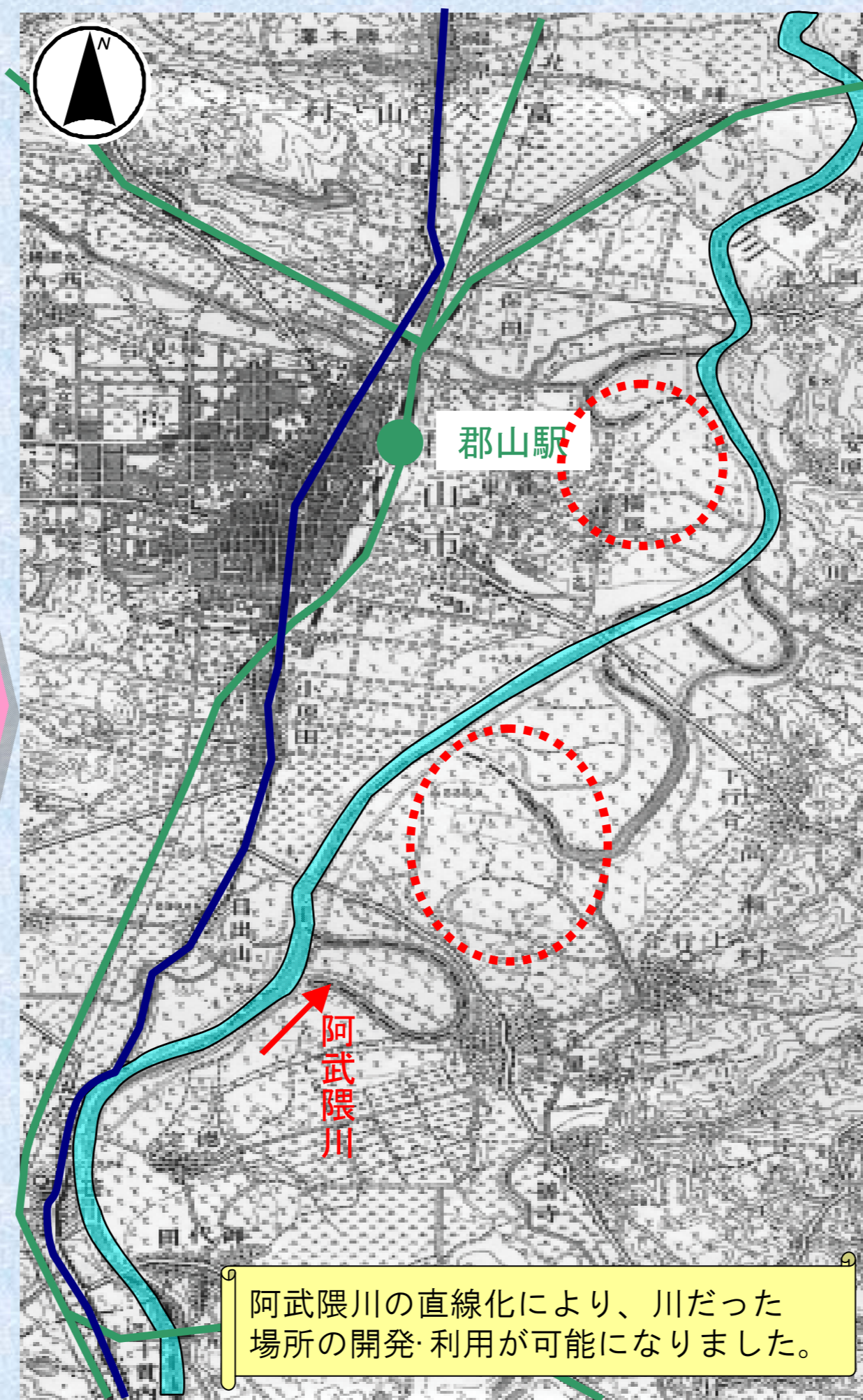
■阿武隈川の流れ（流路）と周辺の土地利用の変化

■改修による阿武隈川の流れ（流路）の変化〔郡山市〕

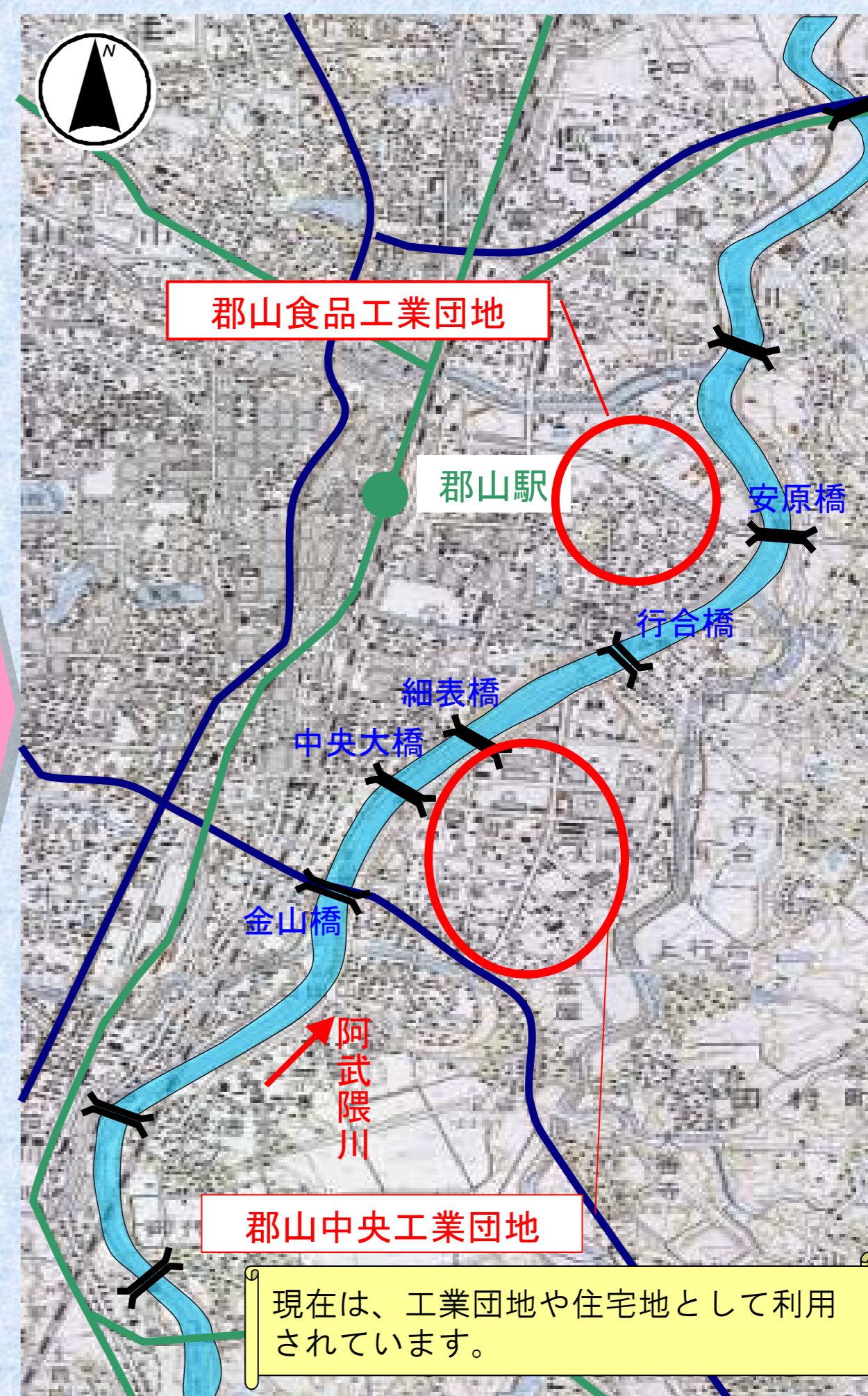
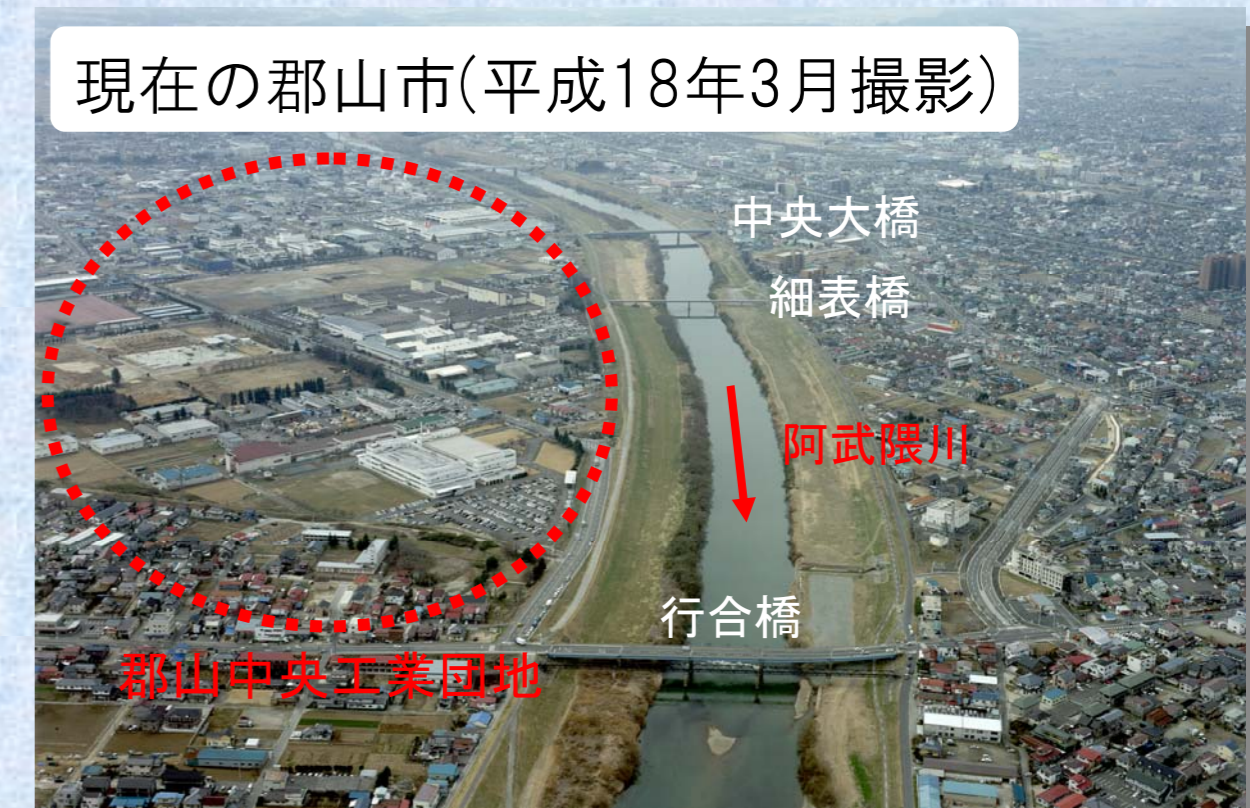
◆蛇行していた阿武隈川が直線化されたことで、洪水被害が軽減され人口や資産が集中してきました。



明治41年の地形図



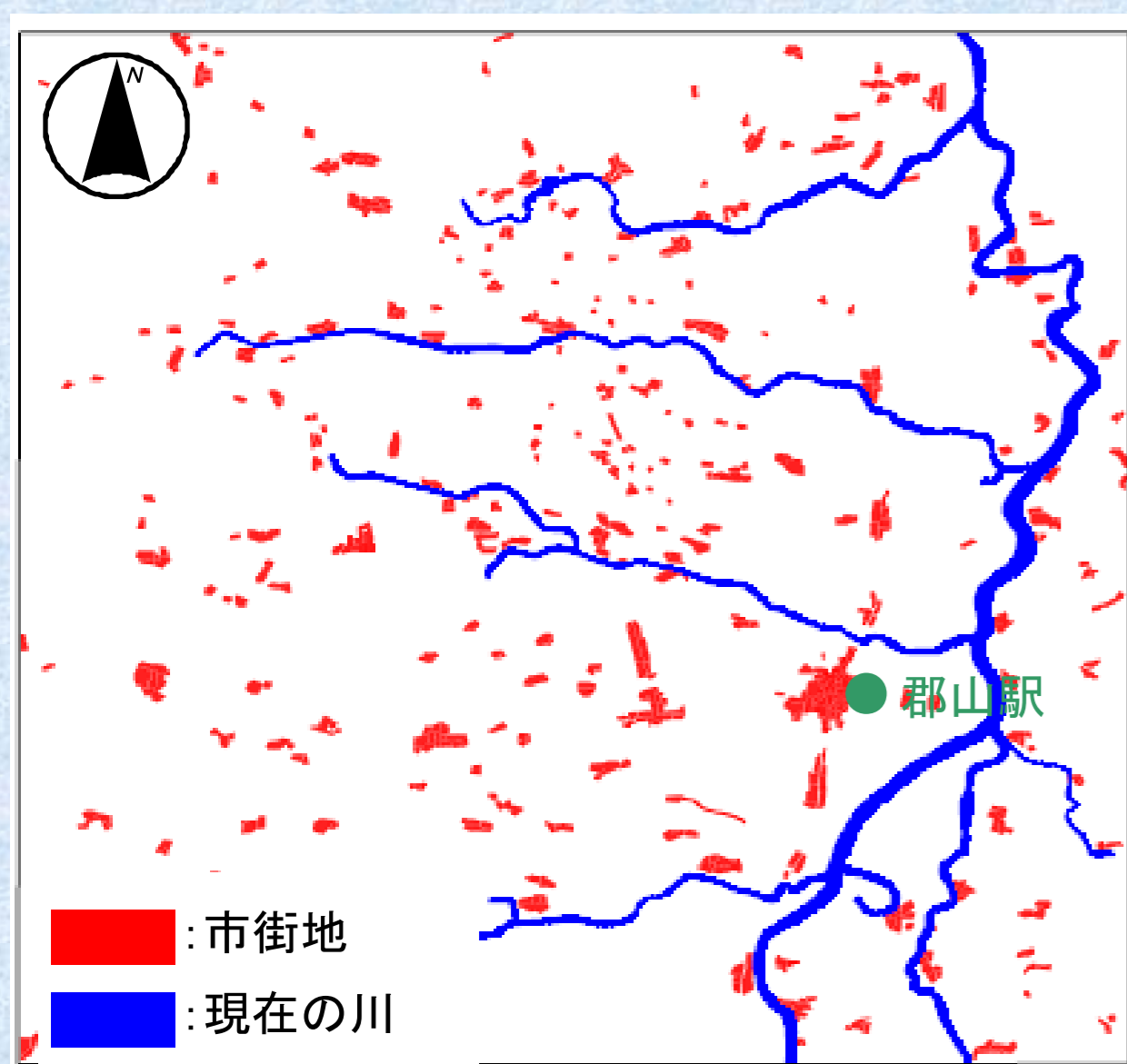
昭和6年の地形図



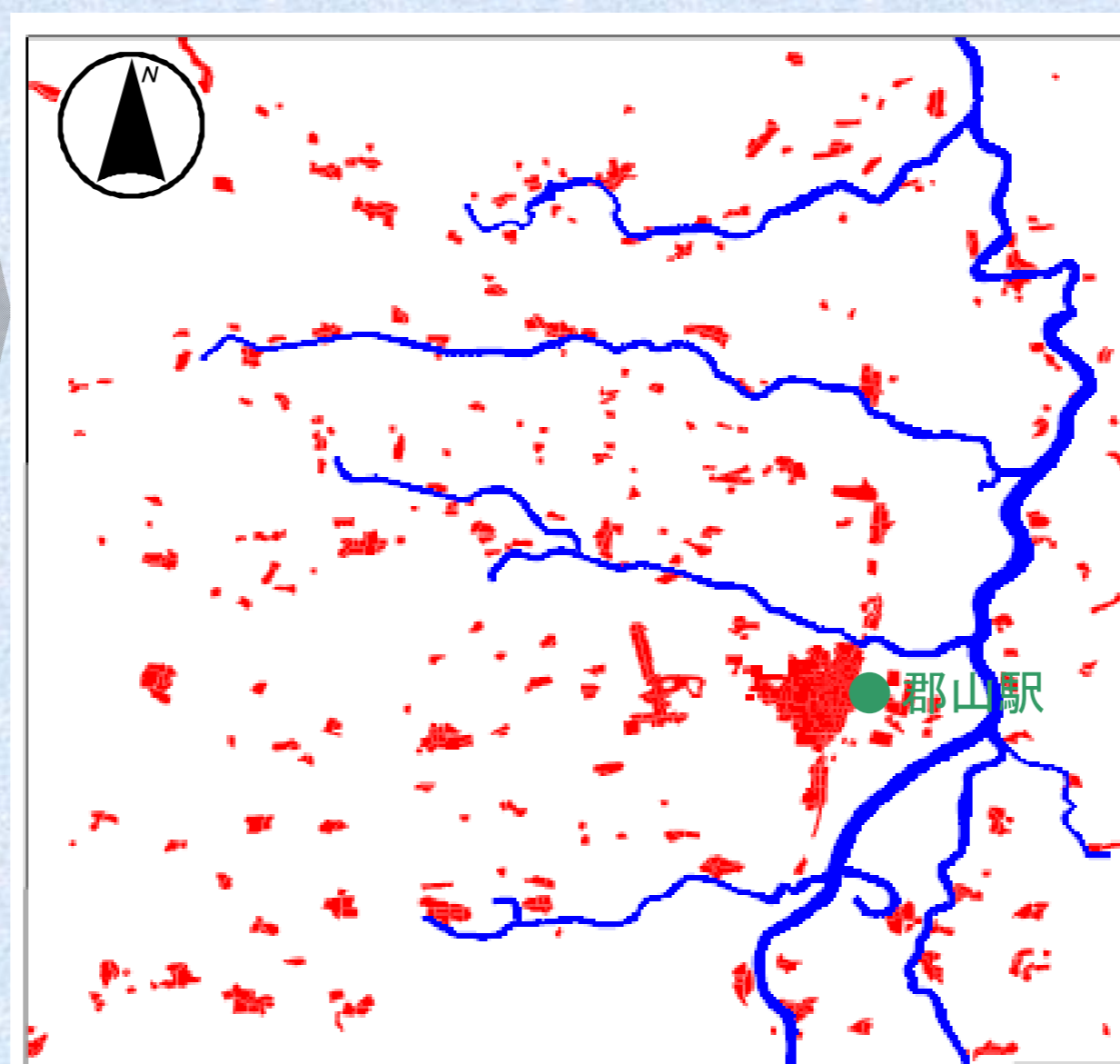
平成12年の地形図

■阿武隈川の改修による土地利用の変化〔郡山市〕

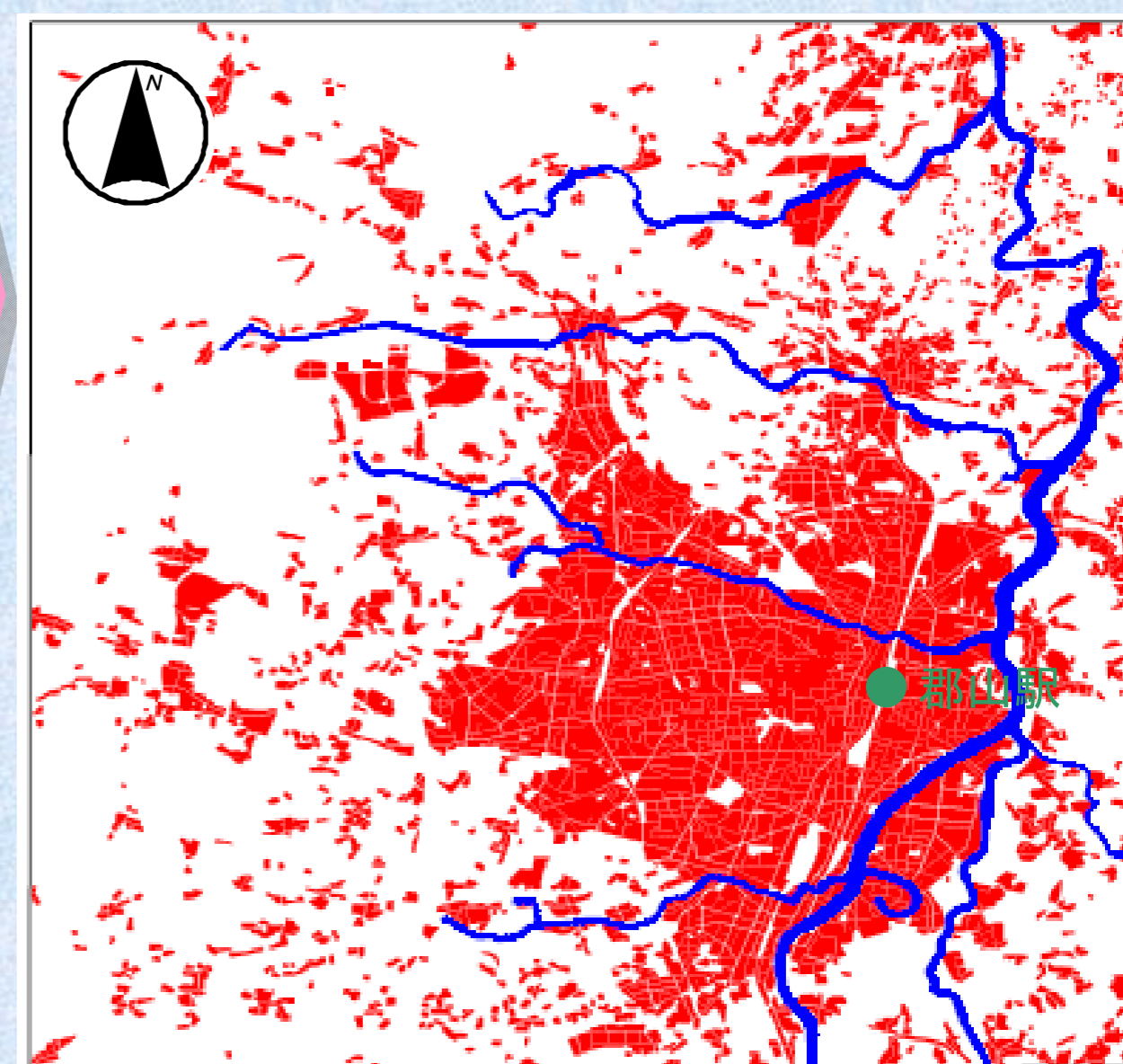
◆阿武隈川の改修により阿武隈川沿いの土地の開発が行われ、現在では福島県の全人口の約6割が阿武隈川の流域で生活しています。



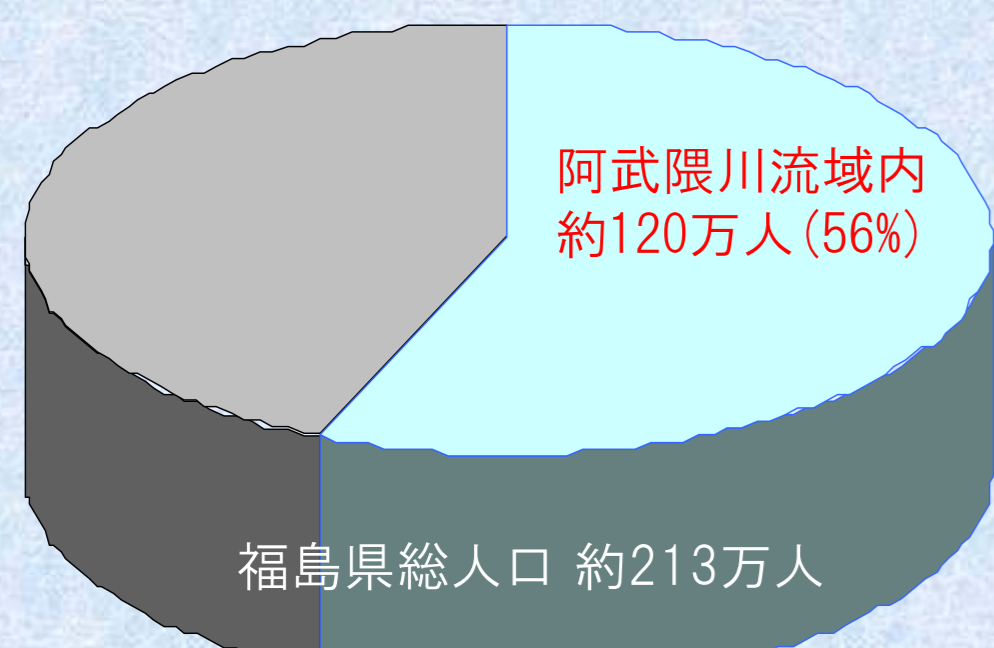
明治41年の市街地



昭和6年の市街地



平成12年の市街地



福島県人口に占める
阿武隈川流域人口の割合